

10 家庭

科目名	家庭基礎	単位数	2 単位	学年	第 2 学年	科 コース	総合ビジネス科
使用教科書	教育図書 高等学校 家庭基礎 グローバル&サステナビリティ			副教材		家庭基礎 準拠ノート	

学習の到達目標

- 1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	I 家族・地域・社会との共生 第 1 章 青年期の自立と家族	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生を生涯発達の視点で捉え、青年期をどのように生きるか考える。 男女が協力して、家族をつくることの意義や現代の家族・家庭の特徴について理解し、より良いあり方について考える。 家庭生活を支える基本的な法律・制度について理解する。
	5		
	6	第 2 章 子どもの発達と保育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解するとともに、子どもを生み育てる親の役割について考える。 子どもを取り巻く現代の問題に目を向け社会全体で子育てを支援し、子どもの権利や福祉について理解する。
	7		
二 学 期	9	第 3 章 高齢期の生活	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を取り巻く社会の課題、高齢者の心身の特徴、生活などについて知り、社会的な支援のあり方や基本的な制度・仕組みについて理解する。 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考えることができる。
	10	第 4 章 共生社会と福祉	
	11	II 生活の自立 第 2 章 衣生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の素材、性能、機能について理解し、各場面に適した衣服を選択し着装ができる。 衣服管理において適切な判断を行うことができ実践できる。 現代の家計の特徴を知り、自分も含めた家族の生活費と家計との関係を理解する。 消費者信用の適切な活用と消費者問題について理解する。 消費者の権利や消費者支援の制度について理解する。
	12	第 4 章 消費生活と経済	
三 学 期	1	II 生活の自立 第 5 章 ライフスタイルと環境	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を目指し、自分のライフスタイルについて見直すことができる。 環境に配慮した消費行動について具体的に考え、行動することができる。 家族の生活に応じた適切な住まいについて考えることができる。 住宅事情や課題を理解し、自分らしい住まい方を工夫できる。 食品の特徴・栄養素の種類や機能について理解する。 持続可能な食生活、安全で健康な食生活について考え、効率的な調理技術を身につける。
	2	第 3 章 住生活と自立	
	3	第 1 章 食生活と自立	

学習評価

1. 定期試験・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。